



校訓

考える人 心豊かな人 たくましい人

霧島市立国分南中学校

学校便り 5月2号

令和7年5月20日発行

強みを生かし、新たなものを創り出す

校長 平國弘明(ひらくに こうめい)

昨年10月に住友ゴムから発売されたオールシーズンタイヤ「シンクロウェザー(商品名)。」現在、CMにドジャース大谷翔平選手が起用されているので、見たことがある人もいるのではないだろうか。このタイヤの最大のセールスポイントは、オールシーズンタイヤ史上初、「スノーフレークマーク」と「アイスグリップシンボル」という国際規定で定められた 2 つの氷上性能基準をクリアしたということである。寒冷地で冬シーズンに使用されるスタッドレスタイヤとほぼ同等の性能を発揮できる(実証済)。ちなみにスタッドレスタイヤは、夏場や冬場でも道路の積雪や凍結のない地域では使用することができない。寒冷地では、冬場とそうでないシーズンはタイヤを付け替えるということがこれまで当たり前であったが、このタイヤは、そのような手間やタイヤの保管場所を省くことができるため、予想を上回る売れ行きだという。このタイヤには、「アクティブトレッド」という新技術が使われている。これは、水や温度に反応してゴムの性質を変化させるという技術であり、水に反応すると道路との設置面部分のゴムが柔らかくなる。また、一般にゴムは温度が下がると固くなってしまいが、この技術では、温度が下がると逆に柔らかくなるという。これらのことにより、濡れたり、凍ったりした滑りやすい路面でもグリップ力が維持される。さらには、水がなくなったり、温度が高くなったりすると、タイヤが元の硬さに戻るため、どんな路面の状態でも同じように、車を走らせ、止めることができるのである。



「シンクロウェザー」を紹介する山本住友ゴム工業社長 日経ビジネスHPより

実は、タイヤ業界は「すでに成熟している(市場において商品やサービスが幅広い世代のニーズを満たし、高い普及率に至った状態)」と言われ、これ以上売ることが難しいとされていたが、今回のこの製品の発売により、市場は激変する可能性があるとも言われている。山本(住友ゴム工業)社長は、「我々の新技術で(他社)との差別化を図り、顧客により良い価値を提供したい。」さらには「アクティブトレッドにさらなる機能を持たせたい。」と意気込みを語っている。中長期的には会社として、「プレミアムタイヤ(車の性能を最大限に高める高性能なタイヤ)」に注力し、ブランドのグローバル展開を図っていききたいとの戦略がある。高級タイヤの市場は、「ミシュラン」、「ブリヂストン」、「グッドイヤー」が世界シェア40%ほどでこの3強は長らく変わっていない。そのためにも会社として、「オールシーズンタイヤ」で世界的な地位を確立したいとの思惑がある。

今回紹介した「アクティブトレッド」という技術も実はこの会社のタイヤ部門のものではなかった。他の部門からの情報提供で新製品が生まれ、夏タイヤの販売量が圧倒的に多かった市場に風穴を開けるものとなったのである。

一部門では、開発できなかった製品。これまでの縦のつながりであるタイヤの研究・開発の歴史と他の部門と協働する横のつながりにより、新製品が生まれたと言える。

一つのことをずっと専門的に研究していくことも大切であるが、その研究を深めるヒントは周りにないのか、研究の成果を一部門で留め置くのではなく、周りに提供していくことで、周りからも情報が入ってくるようになり、研究が深まっていく。同様に学習や作品作りなどでも同じような効果が得られることがある。一人でやるよりも多くの人と取り組んでいくことで、学びや作品の質が高まる。

自分たちの強みに気付き、それを生かし、周りと協働し新たなものを創りだしていこうとする姿勢は、将来に渡って必要な資質と言えよう。

【参考: Biz スクエア2025. 3. 1放送、東洋経済ONLINE HP、日経ビジネスHP】

令和 7 年度青少年姉妹都市（海津市）交流事業

霧島市は平成 18 年に岐阜県海津市と姉妹都市盟約を結び、毎年、中・高生の交流を行っています。今年も今月 23 日から 2 泊 3 日の予定で、海津市からの訪問を受入れ、交流を深めます。8 月 20～22 日は、本市から海津市を訪問する予定になっています。本校からも 2 年生徒が霧島市代表として参加します。姉妹盟約の理由は、薩摩藩による宝暦治水工事が江戸時代中期に行われたことによることは、みんな理解していることと思います。これを機に、どのような工事であったのか、その工事によってどんなことが後生に残されたのか、鹿児島県民、霧島市民として、是非学んでおこう。

【岐阜県海津市情報】 本年度市制 20 年で霧島市と同じ

人口 31,405 人(R7.3) 公立小学校 6 校、同中学校 3 校

岐阜県南西部にある市。西濃地域に含まれる。旧南濃町区域に山地があるが、揖斐川、長良川が流れ、旧海津町と旧平田町域はほぼ全域が海拔ゼロメートル地帯であり、輪中が数多く見られる。

【特産品】みかん、なまず料理、草餅 【観光地】木曽三川公園、平田公園、アクアワールド水郷パークセンター 【イベント】治水神社春季大祭、木曽三川交流レガッタ、月見の森「観月会」



海津市マスコット「かいぶっち」

地区総体近づく

6 月 5 日(木)の陸上競技を皮切りに、地区総体が行われる。10、11 日が各競技の集中日であり、多くの競技が県総体への出場権をかけての戦いである。一昨年度から大会規定が大きく変更され、部活動生徒と出場を認められたクラブチームに所属する南中生が出場できる。出場する生徒は、南中生であるということを強く自覚し、真摯な態度、フェアプレー、中学生として恥ずかしくない行動で、大会に臨んでもらいたい。では、ここで地区総体に向けて私が考える心構えを伝えておきたい。

まずは、「心こそ戦する身の命なれ 揃えば生き 揃わねば死す」。これは「日新公いろは歌」の一つで、心を一つにして戦えば勝ち、そうでなければ敗れるという意味。試合に臨む選手もベンチもサポートや応援も一丸となることが必要である。無論、大会のときだけではない。練習や試合を迎える今の準備期間もそういうことを考えながら過ごさねばならない。紙面の都合で今号はここまで。続きは次号にて。

【6月の主な行事予定】

- 2日(月)小中連携研修【6校時カット】
- 3日(火)全校集会(地区総体推戴式)
- 4日(水)国分高校課題探究活動紹介(6校時)
- 5日(木)地区陸上大会(桝志田陸上競技場)
- 9日(月)【6校時カット】
- 10～12日地区総体(各競技要項による会場)
- 10、11日【C校時、5、6校時カット】 ※13日予備日
- 14日(土)土曜授業
- 17日(火)生徒集会テスト前部活動停止(～23)
- 19日(木)【B校時】
- 20日(金)1学期期末テスト1日目【給食後学活下校】/
第1回7校PTA
- 23日(月)1学期期末テスト2日目【給食後学活下校】
- 24日(火)1学期期末テスト3日目【給食後学活、作業下校/部活動再開】
- 25日(水)エリアリーダー会【B校時】
- 26日(木)第1回学校保健委員会/第1回給食運営委員会
- 27日(金)子供人権セミナー(5、6校時)/命の教育の日/国分南小校区青少年健全育成連絡協議会
- 30日(月)給食残食調査(～7/4)